

地球温暖化防止部会2016年度活動報告

定例会合は毎月第3土曜日 14:00～16:00 イルミン(活動センター)

代表 本多進

1. エコライフデー

- ・用紙「エコライフデー2016夏と2016冬」チェックシートを埼玉県より無料で入手
- ・協力していただいた方々 入間ガス、ダイワハウス工業、JAいるま野、ほのぼのみなみ、環境アドバイザー、入間市環境まちづくり会議会員など。
- ・実施は2016年7月～9月、2016年12月～17年2月の2回、回収方法は直接受付と郵送
- ・参加者は前年度より少し増加 夏 1201名 冬 954名 計 2155名、目標 2000名に始めて達した。
- ・CO2削減は 夏は 1089Kg 冬は 1030Kg 計 2119Kgであった。

2. ダイエットコンクール実施

「エコライフデー2016夏と2016年冬」のチェックシートを利用し、東京電力の領収書にて電力の削減率上位10名と一人当たりの消費電力の低い順上位10名計20名に記念品(¥1000のギフト券)を送呈

3. 見学会:

(1) 2016年4月11日(月) 比留間運送工場見学(武蔵工業団地内) 部会関係者のみ

- ・12名参加、建物の外壁に使用するALC(軽量発泡コンクリート)の廃材を木くずと動植物残さを発酵処理した後、粒状にしたALCと混ぜて人工軽量土壌に再生する。廃棄物を100%リサイクル製造を行っていた。

(2) 2016年5月30日(月) 全日空羽田機体整備工場と森永製菓鶴見工場見学 部会関係者のみ

- ・45名参加、大型バス利用、参加費¥4500
- ・全日空整備工場は巨大な建屋(約40m幅200m)の中で大型のボーイング787、777などを同時に4機整備できる建屋2ヶ所見学することが出来た。最新型のボーイング787と777が整備中で近くで見学できた。また、エンジンの大きさに驚いていた人が多くいた。
- ・森永製菓鶴見工場は街中にあり、製造工程は意外と手作業が多くオートメーションでない工程が見られた。従業員は450名で工場の規模の割には多いような気がした。



(3) 2016年7月16日(土) 入間ガス見学 部会関係者のみ

- ・14名参加、天然ガスは新潟県よりパイプラインで送られてきているとの説明があった。

(4) 2016年11月14日(月) 首都圏外郭放水路とメグミルク見学(春日部市・野田市) 一般募集

- ・45名参加、大型バス利用、参加費¥2500 申込みはハカギによる。定員オーバーだったため抽選
- ・メグミルクは身近な乳牛製品やヨーグルト製品の製造工程を詳しく知ることが出来た。
- ・首都圏外郭放水路は四本の河川の増水した水を地下貯水槽に集め少しずつ放水し、稼働後は洪水が大幅に減少したという。

(5) 2017年3月25日(土) 石坂産業見学(三芳町) 部会関係者のみ

- ・9名参加、産業廃棄物処理施設、環境に配慮した最新の廃棄物処理施設を見学。密閉した工場が粉塵や騒音などは外に漏れないようにしていた、また、工場周辺の敷地には沢山の樹を植えて環境に配慮していた。

4. 第5回いるま環境フェア: 2016年6月20日(日) 産業文化センター

- ・エコライフデーを楽しもう。(アンケート集計) 250名の参加があった。
- ・ごみひろい隊活動展示、ポイ捨て禁止など訴える。収集した4000本のタバコを展示

5. 第22回生涯学習フェスティバル: 2016年12月4日(日) 産業文化センター

- ・エコライフデーを楽しもう。(アンケート集計) 150名の参加があった。
- ・ごみひろい隊活動展示、ポイ捨て禁止など訴える。収集した4000本のタバコを展示

6. ミニ環境講座 メンバー自身が調べてきた内容を紹介、テーマ、時間は自由、今年度は以下の講座があった。

- ①風車を造る、運ぶ
- ②福島沖に巨大風力発電
- ③石坂産業
- ④ 明治神宮の森
- ⑥ ライメックス
- ⑦ キョンが運び屋マダニによる危険
- ⑧尾瀬から考える明日
- ⑨自動運転革命
- ⑩地球温暖化による永久凍土の倒壊
- ⑪ ミツバチが消える
- ⑫ アホウドリの移住計画

以上